

はしもと たかし  
理事長 橋本公之

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より鹿沼相互信用金庫をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

本年も当金庫の経営方針や実績等を紹介した、ディスクロージャー誌「鹿沼相互信用金庫の現況2015」を作成いたしました。本誌を通じて当金庫に対するご理解を一層深めていただければ幸いと存じます。

さて、平成26年度の経済状況を振り返りますと、年度前半は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が予想以上に長引いたことから、景気回復は足踏みしました。しかし、年度後半には、①米国経済の景気回復に伴う輸出の持ち直し、②急激な原油価格の下落による企業収益の押し上げ、③円安効果による製造拠点の国内回帰に伴う設備投資の増加、④消費税増税の影響が薄れ始めたことなどにより、景気は回復基調を取り戻しました。

このような経済状況のもと、当金庫は、地域密着型金融のさらなる深化を図るため、「地域のプラットフォーム」を掲げ、「事業づくり」「企業づくり」「産業づくり」「地域づくり」を目指してお客様サポート力の強化に取り組みました。また、預金等につきましては、夏季・冬季の預金増強キャンペーンに加え、事業所の振込・決済サービスの推進等を、融資につきましては、地域金融の円滑化に向けた積極的な融資推進や顧客ニーズに合った個人ローンの推進等を行いました。さらに、多様化するお客様のニーズにお応えするため、自治体等との連携強化やビジネスマッチングによる販路拡大への支援、CS地域No.1への取組み、信用金庫間の連携による年金友の会等の日光地区への誘客などを実施いたしました。

平成26年度の決算につきましては、預金は前期比30億円増加の1,967億円、貸出金は前期比16億円増加の927億円となり、預金・貸出金ともに順調に増加しました。また、個人向け国債や保険窓口販売等の預かり資産の推進、有価証券及び預け金の効率的な運用等に努めたことから、当期純利益は1億29百万円となり、4期連続で利益を計上することができました。

平成27年度からスタートする新中期3ヵ年計画では、「地域創生のリーダーを目指して」をスローガンに掲げました。全てのお客様のニーズに応えるべく、「地域のプラットフォーム」としての存在感を高めることで「地域繁栄」「地域創生」に貢献していくこととしました。

また、本年10月には当金庫創立90周年を迎えることとなります。「歩みつづけて90年」を合言葉に、役職員一丸となって「地域に必要とされる信用金庫」を目指してまいります。

最後に、皆様の一層のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成27年7月